

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）

送信、受信合わせて3分以内です。
10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

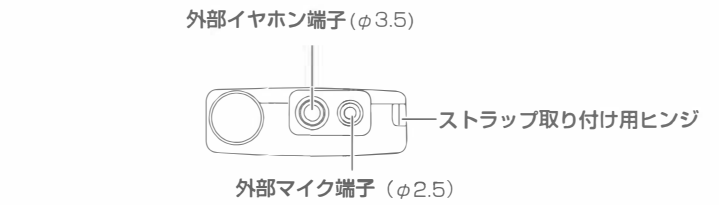
注意 ビープ音をOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

各部の名前とはたらき

前面部



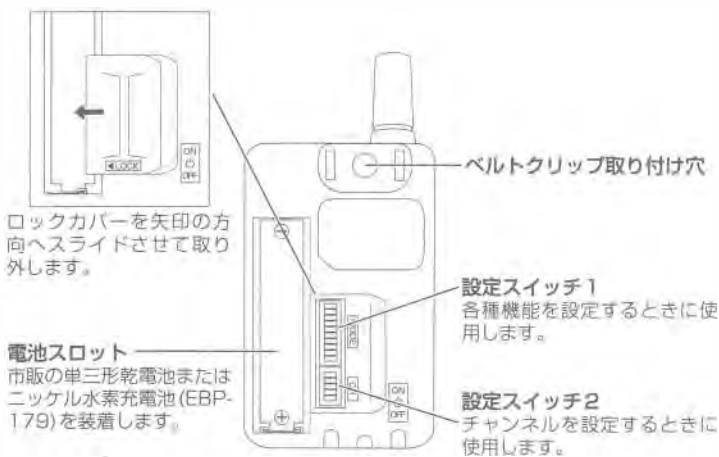
上部部



メモ イヤホン断線検知機能
電源起動時にイヤホンが断線していないか自動で検知をおこないます。もし断線していれば、ランプが赤色と緑色に交互点滅して異常であることをお知らせします。

注意 イヤホンマイクのケーブルは引っかからないように余分な長さは束ねてください。

背面部



注意 ベルトクリップを使用する際、かがんだり座ったりした時にアンテナやプラグ部に無理な力が加わらない位置にトランシーバーを装着してください。

設定スイッチ

項目	初期値	設定スイッチ 1
1		
2	グループ(トーン)設定 OFF、1~7	OFF
3		
4	VOX(音声検出自動送信)	OFF
5	ビープ音(キー操作音、各種アラーム音)	ON
6	コンパクター(バックノイズ低減)	OFF
7	エンドビー(送信終了音)	OFF
8	コールバック(音声モニター)	OFF
9	BS(バッテリーセーブ)	ON
10	電池選択(アルカリ乾電池/ニッケル水素充電電池)	アルカリ乾電池

項目	初期値	設定スイッチ 2
1		
2		
3	チャンネル設定	LO1
4		
5		
6	交互通話/中継通信設定	交互通話

注意 起動中に設定スイッチを変更したときは電源を入れ直してください。

メモ 各種機能についての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.alinco.co.jp/> →「電子事業部」→「ダウンロード」

基本操作

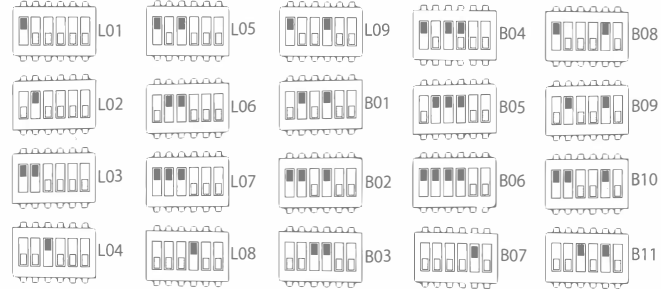
本機の基本となる操作方法を説明します。

交互通話

■交互通話用チャンネルの設定(設定スイッチ2)

レジャー、ビジネスの両方の20チャンネルを搭載しています。

注意 本機は携帯性重視のため、マイクとスピーカーを搭載していません。外部イヤホンマイクまたはスピーカーマイクをご使用ください。



メモ ・スイッチの切り替えにはペン先のような先端の丸いものをお使いください。ナイフのような鋭利なものでは、スイッチを破損し、故障の原因となりますのでご注意ください。
・無効な組み合わせ(設定)の場合は、「LO1」となります。

■電源を入れる

電源スイッチを矢印の方向にスライドさせます。
→電源ランプが赤く点灯します。

■音量を調整する

[▲/▼]キーを押す。
キーを押すと、「ピッ」という音が聞こえますので適切な音量に調整してください。
音量調整は0~30の31段階で、初期状態は「10」に設定されています。

メモ キーを押し続けると連続して音量が切り替わります。
[▲/▼]キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえる音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

注意 音量を大きくし過ぎると聴力障害の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

■送信する

信号を受信していないことを確認してから、外部マイクの[PTT]キーを押してください。
[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。

注意 ・一定の強さ以上の信号を受信しているときは、警告音「プププ」が鳴り送信できません。(キャリアセンス)
・ビープ音をOFFにしているとき、警告音が鳴りません。

[PTT]キー離すと、受信待ち受け状態になります。

■受信する

電波を受信するとイヤホンから相手の声が聞こえます。

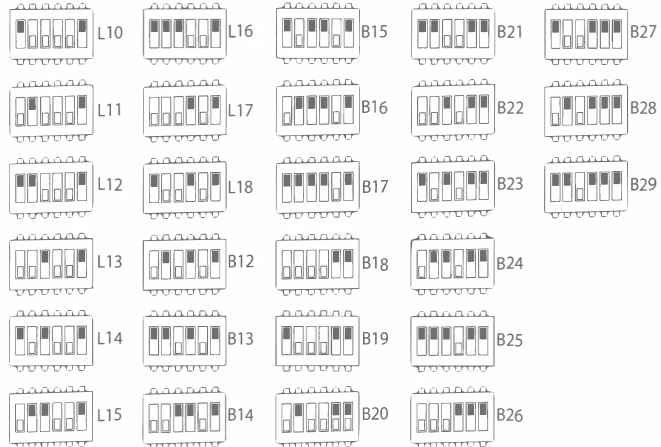
メモ 本機にはテールノイズキャンセラー機能が搭載されており受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。
(テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

中継通信

直接の通信では電波の届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途弊社製の中継器が必要です。

■中継通信用チャンネルの設定(設定スイッチ2)

レジャー、ビジネスの両方の27チャンネルを搭載しています。



■送信する

[PTT]キーを押し続けます。
→直後に「ビビ」という音が鳴ります。
[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認ください。
中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機にもグループトーク機能を設定してください。

注意 中継チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。子機—中継器間、子機—子機間は10m以上離してください。

コールトーン機能

送信中に▲または▼キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。▲と▼キーでは音色が異なります。

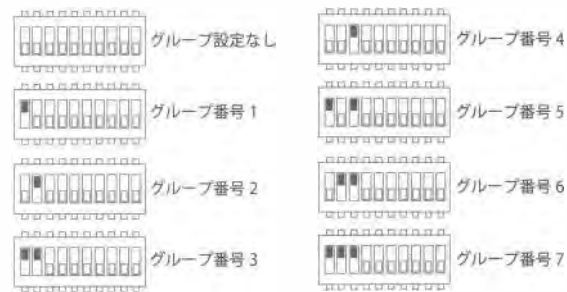
メモ ビープ音をOFFにしているとき、呼び出し音は鳴りません。

グループトーク機能(設定スイッチ1)

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を設定します。

■グループ番号の設定

グループ番号は、1~7までの7種類です。



メモ ・他の弊社製トランシーバーのグループ番号1~7と共通です。
・グループトークはトーンスケルチと呼ばれることがあります。
・グループトーク機能を設定していないトランシーバーは通話音は聞こえますが、グループトーク機能を設定しているグループとは通話できません。

減電池表示

電池の残量が少なくなると、赤色ランプが点滅します。赤色ランプが点滅したら、乾電池を交換またはニッケル水素充電電池を充電してください。

メモ ・「大きな音が鳴ると電源が切れる」「オンオフを繰り返す」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、新しい電池と交換またはニッケル水素充電電池を充電してください。
・電池選択設定を誤っていると正しく減電池表示しないことがありますのでご注意ください。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。ニッケル水素充電電池を充電してください。
	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
	相手と距離が離れすぎている。	場所を移動して通信してください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	3分の通信時間制限を超過している。	[PTT]キーを離し、2秒経過してから送信してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
	ニッケル水素充電電池が正しく装着されていない。	ニッケル水素充電電池を正しく入れ直してください。
	専用の充電電池を使用していない。	専用の充電電池を使用してください。

電池が消耗しているとまれに誤動作することがあります。ニッケル水素充電電池を充電もしくは新しい電池に交換してください。

生産終了製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。

不測の事態により在庫がなくなり、修理ができない場合もありますのでご了承ください。

補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-179	ニッケル水素充電電池(1.2V 1900mAh)
EDC-185A	シングル充電器セット
EDC-186A	ツイン連結充電器セット
EDC-186R	ツイン連結充電スタンド
EDC-139	ACアダプター (EDC-185A/186A付属品のスベア)
EDC-162	ツイン連結充電器用ACアダプター
EMS-59 (※1)	スピーカーマイク
EME-21A	イヤホンマイク (グレー)
EME-21AB	イヤホンマイク (ブラック)
EME-29A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EME-30A	イヤホンマイク (ブーム型)
EME-31A	イヤホンマイク(マイクロ)
EME-34A	イヤホンマイク (カナル型)
EME-39A	咽喉イヤホンマイク
EME-46A	ヘッドセット
EME-49A	イヤホンマイク (オープンエア)
EME-51A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EME-52A	イヤホンマイク (オープンエア)
EME-53A (※2)	ヘルメット用ヘッドセット
EME-57A	イヤホンマイク (カナル型耳かけ型)
EME-6	ストレートコードイヤホン (オープンエア)
EME-26	カールコードイヤホン (オープンエア)
EME-50	ストレートコードイヤホン (耳かけ型)

(※1) スピーカーマイクはVOX機能とコールバック機能が使用できません。
(※2) バイク用ヘルメットには使用できません。

定格

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.8125 ~ 421.9125MHz(受信) 422.2000 ~ 422.3000MHz 440.2625 ~ 440.3625MHz(送信)
	ビジネスチャンネル	421.5750 ~ 421.7875MHz(受信) 422.0500 ~ 422.1750MHz 440.0250 ~ 440.2375MHz(送信)
電波型式	F3E(FM)	
送信出力	10mW	
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)	
音声出力	50mW以上(8Ω負荷時)	
通信方式	単信方式、半複信方式	
定格電圧	DC 1.5V	
動作温度範囲	-10℃ ~ +50℃ (但し充電は0℃ ~ +40℃)	
寸法	52.8(W)×73.8(H)×14.6(D)mm(突起物除く)	
重量	約64g(単三形乾電池含む)	

・仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
・本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
・本書内部の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。